

「見て！捕れたよ」

延岡市北川町・下塚矢ヶ内川

北川 鮎のちよんがけ大会にぎわう

ちよんは、さあ先に取り付けてる罟をみているアユを引掛けて捕る、古くから伝わる漁法。会場とならぶには、水鏡によって女角、子ども魚、一船の

延岡市北川漁業協同組合(長瀬二呂組)の鮎(あゆ)のちよんがけ大会がきまつ、町下塚矢ヶ内川であり、観客の親子連れなど約400人が訪れた。北川ふるさと夏まつり実行委員会提供。

三つに切り、約30本のアユが放流された。参加者は、開始の号令とともに下塚川へ。本中に落ちたり、手当たり次第におおまけつたり試行錯誤しながら、真剣な表情で魚を追った。子どもたちは、アユを引掛けたら「見て！捕れたよ」と騒いで喜んで、保護者を呼んで喜びを分かち合った。あちこち歓声が上がった。

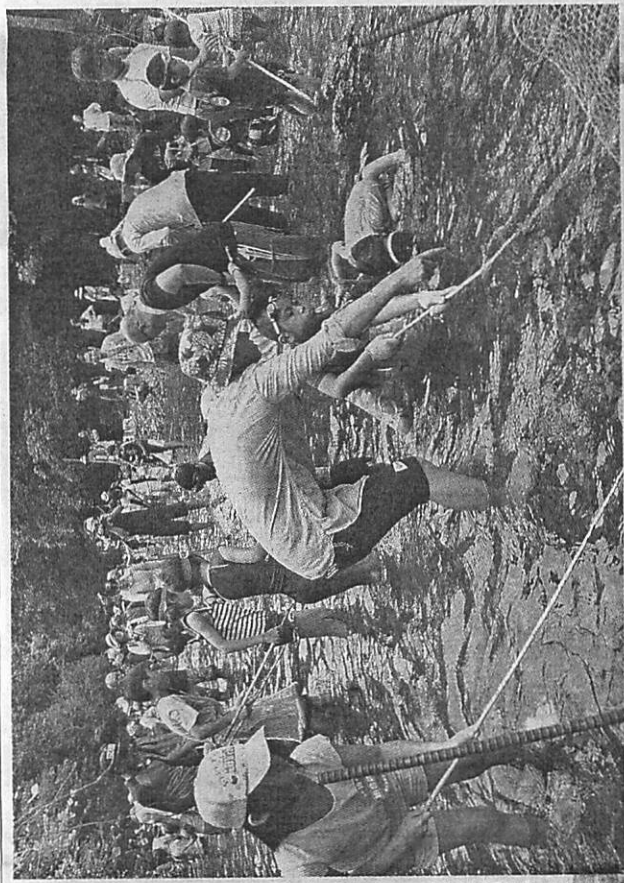
北川町の某家庭に本真から観音していた岡田光徳さん(40)は、家族らで参加。小さい頃おぼれ親した川。

子どもの笑顔も見られてよかったです。娘(麗奈さん10)は「今年も目標、魚が群れた。

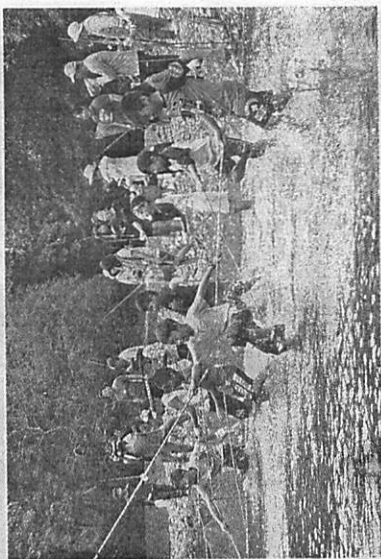
ている所を突いたとたん、押し。楽しんでる様子が、

きまつ、午後6時からは、北川総合運動公園への上場。夏まつり北川ふるさと夏

まつりがある。アユを引掛けたら、花火大会など予定されている。



多くの親子連れにぎわった鮎のちよんがけ大会(きまつ午前、延岡市北川町・下塚矢ヶ内川)



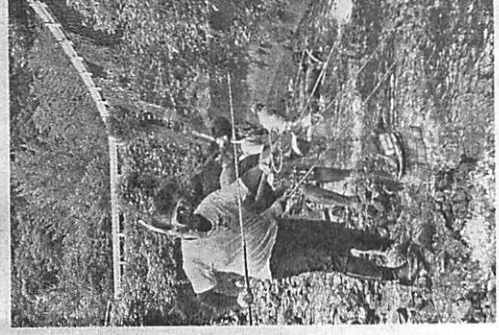
開始の合図で一斉に川へ



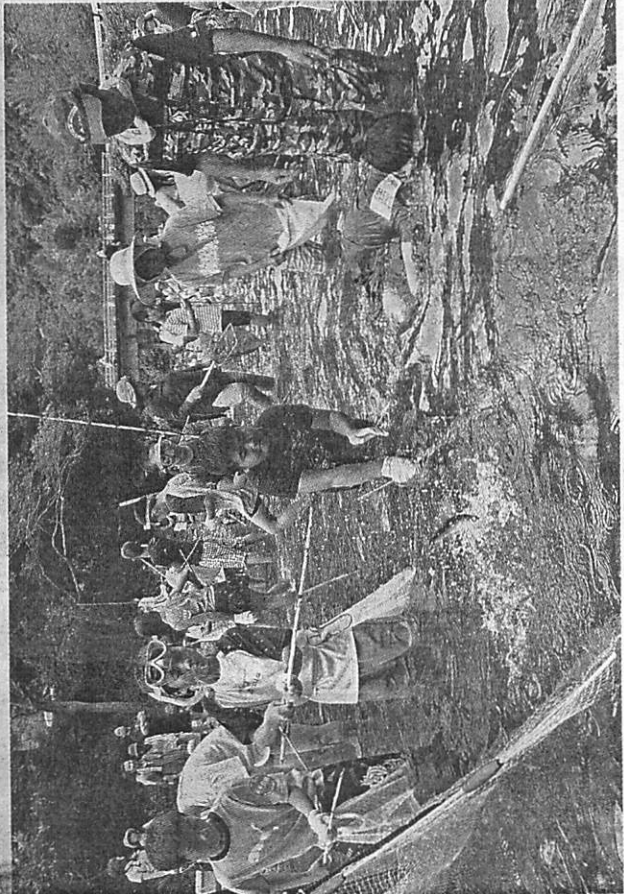
水深があり、やや苦戦した一般用



親子で力合わせ、大物だ！



「今十数匹捕れるぞんも」



手際よくアユを捕りとりまわす